

2022年度 入学試験問題  
(仙台・東京・東海・高松会場)

数 学

(60分)

〔注意〕

- 
- ① 問題は1～4まであります。
  - ② 解答用紙はこの問題冊子の間にはさんであります。
  - ③ 解答用紙には受験番号と氏名を必ず記入のこと。
  - ④ 各問題とも解答は解答用紙の所定のところへ記入のこと。
- 

西大和学園高等学校



問題は次のページから始まります。

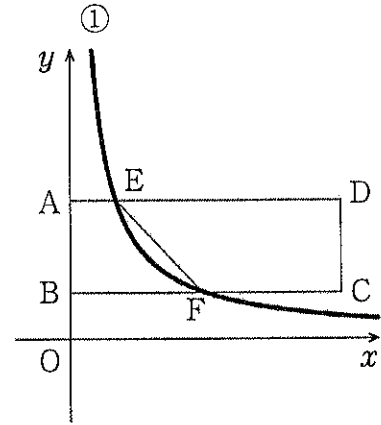
1

次の各問いに答えよ。

(1)  $\frac{1}{a} + \frac{1}{b} = 2$  のとき、 $\frac{a^2b - ab^2}{a^2 - b^2}$  の値を求めよ。

(2) 右の図のように、反比例  $y = \frac{a}{x}$  ( $a > 0$ )…… ①のグラフと4点  $A(0, 3)$ ,  $B(0, 1)$ ,  $C(6, 1)$ ,  $D(6, 3)$ がある。

①のグラフと線分  $AD$ ,  $BC$  との交点をそれぞれ  $E$ ,  $F$  とするとき、四角形  $EFCD$  の面積は四角形  $ABCD$  の面積の  $\frac{2}{3}$  倍となった。 $a$  の値を求めよ。

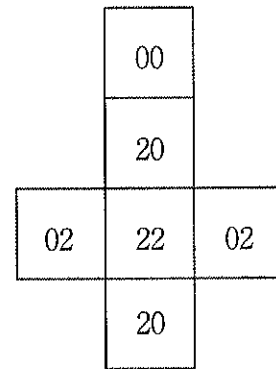


(3) 右の展開図を組み立ててできるサイコロを考える。

このサイコロを振って、出た目の数を左から順に記録用紙に記録する。

例えば、サイコロを2回振って、1回目に 00、2回目に 20 の目が出たとすると、記録用紙には4つの数『0020』が記録される。

このとき、以下の問いに答えよ。



(i) このサイコロを1回振ったとき、記録用紙に『20』が記録される確率を求めよ。

(ii) このサイコロを2回振ったとき、記録用紙に『2022』が記録される確率を求めよ。

(iii) このサイコロを3回振ったとき、記録用紙に『2022』と並ぶ部分がある確率を求めよ。

(4) 正の整数  $a$  は4の倍数で、7でわると2余る数である。 $\sqrt{576 - a}$  が整数となるような  $a$  の値を求めよ。

## 計算用紙

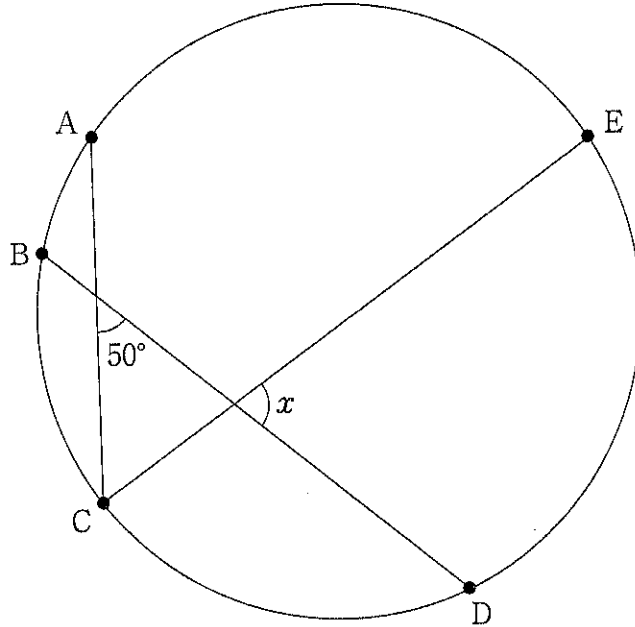
※切り離してはいけません。

問題は次のページへ続きます。

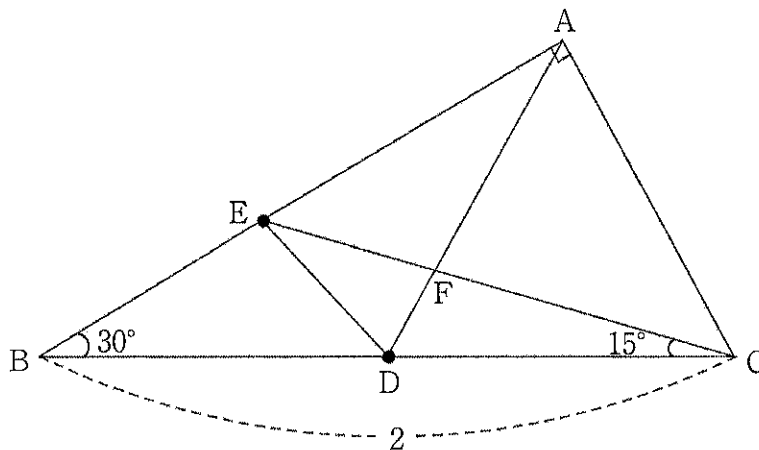
2

次の各問いに答えよ。

- (1) 下の図において、円周上の点  $A, B, C, D$  は、 $\widehat{AB} : \widehat{BC} : \widehat{CD} : \widehat{DE} = 1 : 2 : 3 : 4$  を満たす。このとき、 $\angle x$  の大きさを求めよ。ただし、 $\widehat{AB}, \widehat{BC}, \widehat{CD}, \widehat{DE}$  は、それぞれ半周より短い弧の長さを表すものとする。



- (2) 下の図のように、 $\triangle ABC$  は  $\angle A = 90^\circ$  ,  $\angle B = 30^\circ$  ,  $BC = 2$  の直角三角形であり、 $D$  は  $BC$  の中点である。辺  $AB$  上に点  $E$  を  $\angle ECD = 15^\circ$  となるようにとり、 $AD$  と  $CE$  の交点を  $F$  とする。このとき、 $\triangle AFC$  の面積を求めよ。



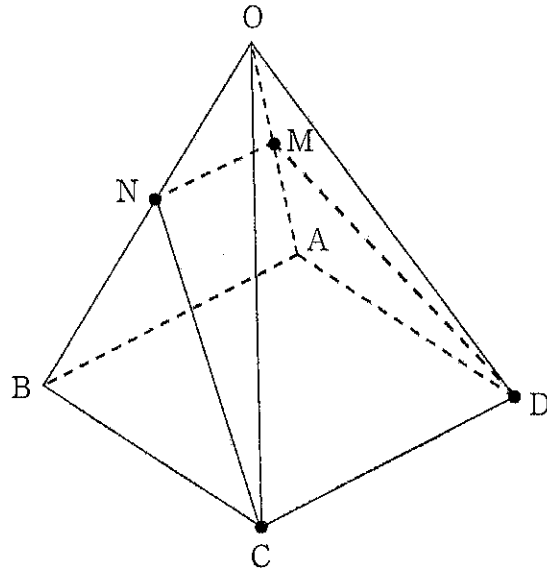
## 計算用紙

※切り離してはいけません。

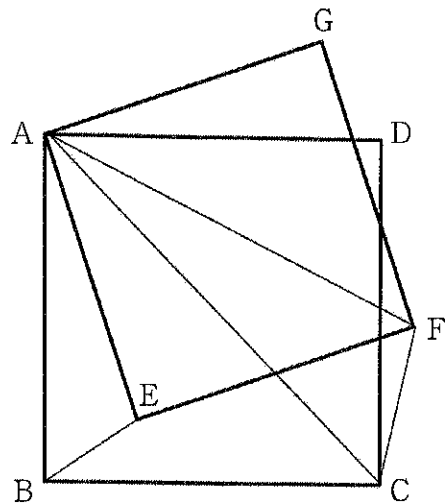
問題は次のページへ続きます。

(3) 下の図のような、すべての辺の長さが1の正四角すい  $O-ABCD$  がある。

$OA$ ,  $OB$  の中点をそれぞれ  $M$ ,  $N$  として、この立体を4点  $M$ ,  $N$ ,  $C$ ,  $D$  を通る平面で2つに分けたとき、 $O$  を含まない方の体積を求めよ。



(4) 右の図において、四角形  $ABCD$ ,  $AEFG$  は正方形である。 $\triangle ACF \sim \triangle ABE$  であることを証明せよ。





## 計算用紙

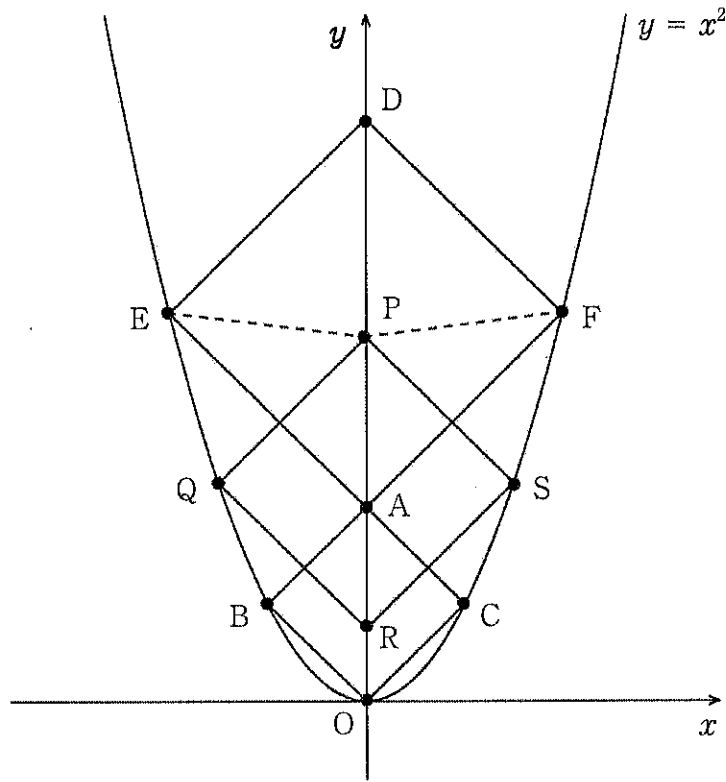
※切り離してはいけません。

問題は次のページへ続きます。

**3**

下の図のような、放物線  $y = x^2$  上に頂点をもつ 3 つの正方形  $ABOC$ ,  $PQRS$ ,  $DEAF$  において、 $PA : AR = 7 : 5$  であり、四角形  $PQRS$  の面積と四角形  $DEPF$  の面積は等しいものとする。このとき、以下の問いに答えよ。

- (1) 直線  $OC$  の傾きを求めよ。
- (2) 点  $D$  の座標を求めよ。
- (3)  $DP : PA$  を最も簡単な整数の比で表せ。
- (4) 点  $R$  の座標を求めよ。



## 計算用紙

※切り離してはいけません。

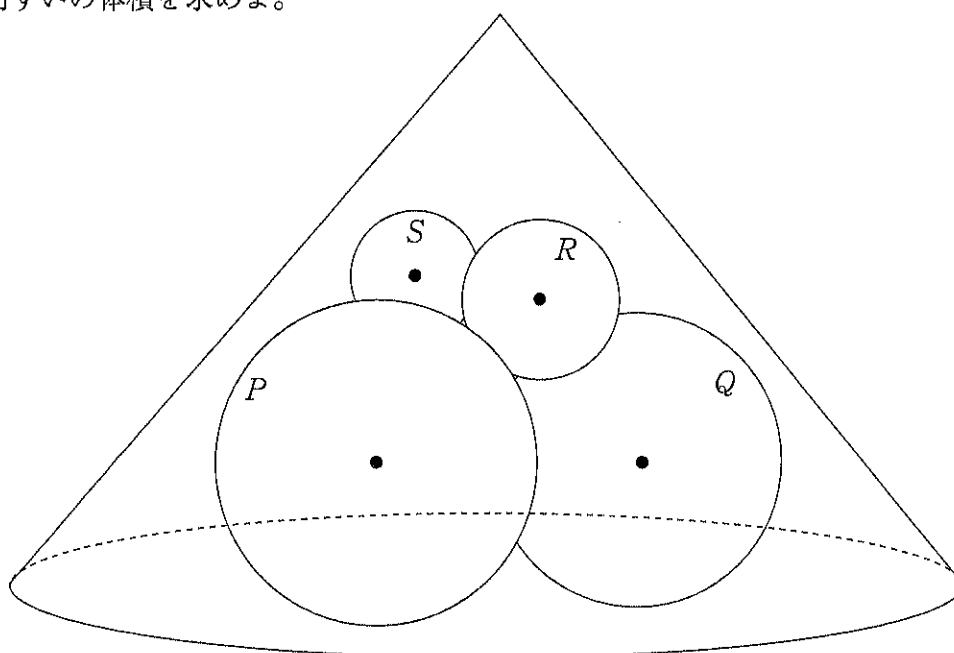
問題は次のページへ続きます。

4

図のように、円錐の内部に、半径が 2 の 2 つの球  $P$ ,  $Q$  と、半径が 1 の 2 つの球  $R$ ,  $S$  を 4 つの球が互いに他の球と接するように入れたところ、球  $P$  と球  $Q$  は円錐の側面と底面に接し、球  $R$  と球  $S$  は円錐の側面に接した。

また、球  $P$  と球  $Q$  が接する点を  $A$ 、球  $R$  と球  $S$  が接する点を  $B$  とすると、2 点  $A$ ,  $B$  は、円錐の頂点と円錐の底面の中心を結ぶ線分上にあった。このとき、円周率を  $\pi$  として以下の問いに答えよ。

- (1) 球  $P$  の中心を  $O$  とするとき、 $OB$  の長さを求めよ。
- (2)  $AB$  の長さを求めよ。
- (3) 円錐の高さを求めよ。
- (4) 円錐の体積を求めよ。



## 計算用紙

※切り離してはいけません。

